サンダイヤ オイルタンク 取扱説明書

このたびは、「サンダイヤオイルタンク」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用になる前にこの説明書をよく読んで正しくご使用ください。タンクの据付にあたっては据付説明書をよく読んでください。なお、この取扱説明書は、据付説明書、仕様書と共に必ず保存してください。

◎特に注意していただきたいこと。(安全のために必ずお守りください。)

⚠ ガソリン厳禁

- **ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災のおそれがあります。**

⚠ 火 気 厳 禁

- **火花を発生する機器、炎を発生する機器、高温物体など、引火するおそれのあるものは絶対近づけないでください。火災のおそれがあります。**

タンクに乗ったり、傾けたり、ぶらさがったりしないでください。転倒し火災につながるおそれがあります。

近くにある機器が燃焼中のときは、タンクをもちはこんだりしないでください。転倒したり、油がこぼれて火災につながるおそれがあります。

1. 据付上の注意

- タンクの据付にあたっては、据付説明書、および各地の火災予防条例に従い、防火上、安全な場所、構造で、据付してください。
- 据付工事がはじめての方は、販売店又は、弊社へご相談ください。

2. 給油上の注意

- 給油は、近くにある燃焼機器などを消火してから行ってください。
- 給油のときは、水、ゴミなどが混入しないようにしてください。
- 油量計の「満」以上は給油しないでください。
- こぼれた油は、よくふきとってください。
- 給油口のふたは確実にしめてください。また、なくさないでください。

3. 日常の注意

- タンクのバルブや送油管などにゆるみ、油漏れがないか確認してください。
  油漏れは火災につながるおそれがあります。
- 油量計の目盛りは、あくまでも目安です。正確な油量を示すものではありません。
- 送油管内の圧力上昇防止のため、ストレーナーバルブと燃焼機器側バルブの両方共、閉じたままにはしないでください。
- タンクの脚部のねじにゆるみがないか、脚にぐらつきがないか、確認してください。
  脚のゆるみは、転倒につながるおそれがあります。
- タンク内に水がたまったときは、水抜栓や給油口または水抜きアダプターから排出してください。排出しないと燃焼機器の失火につながるおそれがあります。
- 給油口ストレーナ、ストレーナバルブにたまったゴミなどは、清掃してください。又、ストレーナーバルブのカップは透明度がなくなったり、表面に細かいヒビが入った場合は交換が必要となります。
- 給油口のふたの空気穴、または空気取入れ用の通気管をふさいだり、異物、積雪などで詰まらせたりしないでください。詰まるとタンク内が負圧になり燃焼機器の失火につながるおそれがあります。
- タンクの周囲は整理、清掃し、不要な物を置かないでください。
- みだりに改造しないでください。破損、故障につながるおそれがあります。
- ボードに乗ったり、物をのせたりしないでください。変形したり、割れるおそれがあります。(デラックスタンク)

4. 古くなった場合の注意

- タンクのバルブや、固定ねじなどの部品が劣化してきたときは、最寄りの販売店で純正部品をお求めください。
- バルブなどの交換の際は、タンク内の油を完全に抜き取り、周囲の防火上の安全を確実に行ってください。
- 古くなって、脚部などにいちじるしい腐食を生じてきた場合は、販売店へご相談ください。
- タンクを使用しなくなった場合、廃却する場合はタンクの油を完全に抜きとってください。油を抜きとっても、溶断などしないでください。内部に残った油が気化して爆発する危険があります。廃却については販売店、又は業者にご相談ください。

発売元 株式会社サンダイヤ

本　　社	〒144-0051	東京都大田区西蒲田2丁目9-10	Tel.03(3753)8300
東京営業所	〒144-0051	東京都大田区西蒲田2丁目9-10	Tel.03(3753)8300
大阪営業所	〒550-0015	大阪市西区南堀江4丁目25-D102	Tel.06(6541)1250
青森営業所	〒038-0059	青森市油川岡田39-1	Tel.017(762)7311
仙台営業所	〒983-0034	仙台市宮城野区扇町7丁目8-26	Tel.022(259)8001
信越営業所	〒381-2216	長野県長野市下氷鉋1-8-6	Tel.026(286)7233

製造元 青森宝栄工業株式会社

〒039-3214 青森県上北郡六ヶ所村大字平沼字田面木246番地
Tel.0175(75)3121